

第4回定例会が開催されるに当たりまして、第3回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

第6期恵庭市総合
計画の策定につい
て

はじめに、第6期恵庭市総合計画の策定について申し上げます。
本市の将来の都市像を見据えたまちづくりの指針として、令和6年度から第6期総合計画の策定を進めて参りました。

策定に当たり、「市民意識調査」や「市民の広場」、「中学生向け講座」、「市民まちづくりワークショップ」、「分野別意見交換会」、さらに「総合計画シンポジウム」等を通じて、多くの市民の意見を幅広くお聞きし、これからの恵庭のまちづくりについて考える機会を設けて参りました。

加えて、総合計画審議会や市議会では、総合計画特別委員会において慎重な審議を重ね、本年10月28日、総合計画審議会から将来都市像を「未来をひらく つながり広がる 文化創造都市 ～笑顔咲く 暮らし彩る ガーデンシティ～」として取りまとめられた答申をいただいたところであります。

本答申を踏まえ、第6期恵庭市総合計画基本構想を議案として本議会に議案として提案しておりますので、ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

柏陽地区複合施設
整備・管理運営事業
について

次に、柏陽地区複合施設整備・管理運営事業について申し上げます。

本年6月に施設整備・管理運営事業者の募集要項等を公表し、7月31日を期限に参加申込みを受け付け、8月21日に参加資格審査の結果を通知しました。

今後は、事業者選定委員会を設置し、参加事業者からの提案書類を審査のうえ年内に優先交渉者を決定、1月に基本協定及び仮契約を結び、本年度中の事業契約の締結を目指して進めて参ります。

漁町の住居表示の
実施について

次に、漁町住居表示事業について申し上げます。

本市では、これまで市民生活及び来訪者等の利便性を向上させる「わかりやすいまちづくり」の実現を目的として住居表示事業を進めて参りました。

本年9月27日に漁町地区620世帯、1,038名を対象に住居表示を実施いたしました。

実施にあたっては、住民説明会等を重ね、円滑に住居の表示変更が完了したところであります。

えにわ環境・エネルギー展について

次に、えにわ環境・エネルギー展の開催について申し上げます。

9月7日に花の拠点はなふるにおいて「えにわ環境・エネルギー展」を開催いたしました。

当日は、環境への取組を行っている企業等による実験や体験型のブースの出展のほか様々なイベントを実施し、市内外より約4,000人の方々にご来場いただいたところであります。

今後も、環境問題や脱炭素社会の実現に向けて積極的に取り組んで参ります。

えにわ子育て応援
隊の活動について

次に、えにわ子育て応援隊の活動について申し上げます。

えにわ子育て応援隊は、恵庭で子どもを生み、育てたいという市民を、まちぐるみで応援し、次代を担う子どもたちの健やかな成長を見守り、地域全体で子育てを支え合うことを目的として活動しております。本年9月には子育て応援企業表彰として、子育て支援や地域の子育て応援に取り組んでいる1社を表彰いたしました。

また、9月27日には、子どもや親子が楽しめる多くのイベントが詰まった「えにわ子育て応援フェス2025」を開催し、1,030名と多くの方に参加いただいたところであります。

農業振興について

次に、農業振興について申し上げます。

農林水産省北海道農政事務所が公表している『令和7年度 水稲の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量』によりますと、作況単収指数は全道で98、本市を含む石狩管内で100となっております。本年度から指標が変更となっておりますが、例年並みの収穫量が見込まれております。

石狩農業改良普及センターによりますと、水稲は6月中旬以降、高温・多照で経過し、収穫まで順調でありましたが、“春まき小麦”については、収穫期の降雨により、品質に影響があったとの報告を受けております。

次に、市営牧場についてであります。5月21日から5月23日までの3日間で入牧を行い、市内外の酪農家13戸より186頭の乳用牛を受け入れ、10月16日、17日の退牧日まで約150日間の放牧を行い、大きく成長した乳用牛を生産者へ引き渡したところであります。

鳥インフルエンザの発生と防疫措置について

次に、鳥インフルエンザの発生と防疫措置について申し上げます。

11月1日、市内の養鶏場からの連絡により、簡易検査を行ったところ、A型インフルエンザ陽性が確認されました。

翌11月2日に遺伝子検査を実施し、国は死亡状況及び簡易検査、遺伝子検査の結果から、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜と判定しました。

同日、道庁において「北海道高病原性鳥インフルエンザ対策本部会議」が開催され、殺処分等の防疫措置が開始されたところであります。

本市におきましても「恵庭市高病原性鳥インフルエンザ対策本部」を設置し、「拠点施設の選定・設営・運営作業の支援、保健師の派遣」を行うとともに、「消毒ポイントの作業支援、給水作業」など、北海道が実施する防疫措置の支援を行ったところであります。

11月7日に約23万6千羽全ての殺処分が完了し、11月10日に

埋却作業を含む農場の防疫措置が完了したところではありますが、12月10日までの期間は、消毒作業が継続されることから、北海道からの要請に対して引き続き支援を行って参ります。

えにわん産業祭2025の開催について

次に、えにわん産業祭2025の開催について申し上げます。

9月6日に花の拠点はなふるにおいて、「えにわん産業祭2025」を開催いたしました。

当日は天候にも恵まれ、市内外より過去最多となる約12,000人の方々にご来場いただき、市内の企業による商品の販売や企業PRのほか、飲食ブースの出店やはたらく車の車両展示などを通じて本市の産業の魅力を発信できたものと考えております。また、友好都市である藤枝市の特産品の販売を行い、多くの来場者に楽しんでいただいたところであります。

えにわ応援商品券2025について

次に、えにわ応援商品券2025について申し上げます。

物価高騰の影響を受けた生活者に対する支援を目的として、「えにわ応援商品券2025」事業を実施しているところであります。商品券の発送につきましては、今月中に完了する見込みであり、受取後順次ご利用いただいているところであります。

さらに、9月以降に出生及び転入された方への対応といたしまして、12月31日を基準日として対象者を再抽出し、令和8年2月上旬頃に対象世帯へ商品券を発送する予定であります。

札幌圏消防指令センターについて

次に、札幌圏消防指令センターについて申し上げます。

札幌圏の6消防本部による指令業務の共同運用を本年9月2日より順次開始し、本市においては9月18日に119番回線の切替えを行いました。

消防資機材の充実
について

これまで大きなトラブル等はなく、119番通報対応能力の向上が
図られていると認識しております。

最後に、消防資機材の充実について申し上げます。

本年8月に消防に配置するドローンを更新整備いたしました。新しい
機体は防水、防塵性能が具備され、赤外線カメラを搭載しております。

これにより、悪天候での対応力向上や行方不明者捜索等における情報
収集活動の強化が図られると認識しております。引き続き、災害対応の
強化に努めて参ります。

以上、第3回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたし
ました。

なお、本議会に提案している議案等については、それぞれ上程の都度説明させていた
きますので、よろしくご審議をいただき、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。